

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公開番号】特開2011-91816(P2011-91816A)

【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-249972(P2010-249972)

【国際特許分類】

H 04 W 52/40 (2009.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 52/24 (2009.01)

H 04 W 52/16 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 4 4 8

H 04 Q 7/00 5 4 3

H 04 Q 7/00 4 4 0

H 04 Q 7/00 4 3 6

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年10月11日(2011.10.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

好適実施形態において、移動局は、アクティブセットの基地局がキャパシティリミット条件に無いことを条件として、潜在的逆方向リンク送信レートが成功する送信の公知の確率を持つアクティブセットの基地局のための送信レートプロファイルを知っている。好適実施形態において、遠隔局122は以下の式に従ってディレーティングメトリック(DM)とここで呼ぶメトリックを計算する。

【数1】

$$DM = 1 - \left[1, \left(\sum_i SNR_i \cdot RLB_i \right) \left(\frac{1}{MaxSNR_i} \right) \right]$$

但し、 SNR_i は*i*番目の基地局の推定された信号対雑音比であり、 $MaxSNR_i$ は遠隔局のアクティブセット内の基地局の最大信号対雑音比であり、 RLB_i は0または1の値を取るアクティブセット内の*i*番目の基地局に関する逆方向リンクビギーピットの値である。式1を用いて逆方向リンクキャパシティリミット条件を示す逆方向リンクビギーピットを送信する基地局からの順方向リンク信号が強ければ強いほど、ディレーティングは大きくなる。このディレーティングメトリックは、成功する送信の与えられた確率のためにレートが減少するように送信レートプロファイルに倍率をかけるのに使用される0と1との間の値をとる。